

山田 美津代 一般質問



(1) 通学路を安全に又教室は県産材を使用して

(問) 沢の30キロ規制のある通学路はなかなか規制が守られず生徒の安全を確保するため道路に30キロと書いて運転者の意識を深めてはいかかか。

また西小学校の教室増設は温かみと潤いのある教育環境づくりができる木材で建ててほしい。

(答弁: 教育長) 通学路をゾーン30にするには地域の方の合意が必要。増設を検討している教室はプレハブでない方法で将来建て替え時にも有効利用できるものを検討。議員のお考えと同様、教室は学びの場として最重要と考えるので環境面も十分検討を行う。

(2) 高齢者の加齢による補聴器に補助を

(問) 近年難聴の方が増え、補聴器が高く、安いものでは調整が利かず使えなく放置する方もおられますが、聞こえないため人と話すことを避けてしまい認知症やうつ状態になってしまいう心配がある。耳が聞こえるか聞こえないかは生活の質を大きく左右する。できる限り老後の生活の質が維持できる助成の検討を。

(答弁: 町長)

現時点では助成は考えていない。さわやかホールには、集音器がある、磁気ループの導入は検討する。

(3) 給食、副食費の無償化と中学校給食の改善を。



2019年11月20日の中学校給食
男子生徒はこれでは足りないのでは・・・

(問) 年間の保護者の教育にかける負担は7万から9万。そのうち給食費だけでも無償化になればこんなに助かるでしょうか。幼保無償化による副食費負担も3500万で出来るなら、奈良県下で支援している市町村も多いので支援を検討すべきだ。中学校給食も残食数を減らす努力を。

(答弁: 教育長)

必要となる給食財源の全てを町単独で捻出は厳しい。多子軽減は小学校給食費の改定時に検討。副食費は全国で自治体で支援策を講じているが、町は子育て支援の在り方を財政状況を踏まえ検討。残食の削減には取り組む。

やつお春雄 一般質問

(1) 国保における子どもの均等割について

(問) 国保税が高すぎる、協会けんぽの2倍近い。その理由は「平等割」均等割が課されていることにある。特に子どもの均等割は負担が大きく、少子化対策にも反する。所得税では子ども二人で76万円の扶養控除が受けられるのに、国保では逆に5.2万円税額がアップする。担当者として矛盾すると感じないか。上牧町では二年間子どもの均等割を廃止した。

(答弁: 理事者) 矛盾するとは考えていない。上牧町では蓄えがあったと聞いている。



(2) 遊水機能の強化について

(問) 台風19号の被害は甚大で堤防決壊が全国で40か所に及ぶ。町内を流れる河川は天井川が殆どで一時水(いつときみず)で被害が発生しないように、堤防の強化とともに遊水地の整備が急がれる。県とも協議して対策を講じてほしい。

(答弁: 理事者) 馬見北3丁目の真美ヶ丘池は佐味田川の遊水池であり、普

段は住民の皆さんが憩えるように整備したい。町内の広瀬川・馬見川・古寺川では県と協議し緊急内水対策事業として遊水池を設置することとなったのははじめ、高田川・葛城川では川床土砂撤去や堤防の強化に取り組む。

雑木・雑草の撤去作業が進む真美ヶ丘池



議員はちやつかり賞与を増額

国家公務員が労働基本権の一部を剥奪されていることへの代替措置として人事院勧告が出されています。地方公務員がこれに倣うのは当然ですが、慣行(町の説明)として町会議員にも賞与の増額がなされてきました。しかし議会は自主的に月額報酬を一万円引き下げており賞与の増額分を受け取る道理はありません。今回一昨年12月議会で賛成した議員から3名が反対に変わりました。町三役(町長・副町長・教育長)が賞与増額の提案自体を行わない賢明な態度をとった中で、いまだに自らの賞与増額に賛成する議員の責任が問われます。

敬称略、○は賛成×は反対 議案・決議等	日本共産党		公明党		無所属										結果
	八尾春雄	山田みつよ	吉村真	山村	濱野	吉田	坂野	吉村裕	坂口	奥本	堀川	谷	笹井	青木	
第70号 議会議員の賞与を各20300円加算する (2018年同士の議案)	×	×	×	×	○	○	○	×	○	長	○	○	○	×	賛成7反対6で可決。昨年度も同様の議案が提案され賛成10反対3で可決されている
第79号 町の公的責任を後退させる指定管理者の指定	×	×	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	賛成11反対2で可決
第80号 土地開発公社設立	×	×	○	○	○	×	○	×	長	○	×	○	○	賛成8反対5で可決	